



仕事と興味が繋がった現在

和歌山県 有限会社勝浦測量設計事務所 坂本 知穂

いまやパーソナルコンピュータ（以下、P C）は測量業を始め、各分野に不可欠なツールとなっています。

小さい頃から家で父が機械類を分解・修理するのを見ておりましたのでなんとなく機械類に興味生まれ、自分でも電化製品の簡単な修理はできるようになっていました。

ですからP Cが世間に出始めた当時も「それで何ができるのか」ということよりも「内部はどうなっているのだろう」と、その仕組みに興味津々だったことを覚えております。

そんな時期に当社へオペレーターとして入社し、P Cの操作に専念できる環境が実現しました。当初は総務の仕事の傍ら、現場の方からデータを頂いてP Cへ入力したり、計算を行ったり、CADで作図をするといった業務をしておりました。

次第に私がP Cそのものに興味があると知れるや、新しいP Cの組み立てやLANの構築を行ったり当時広まりだしたインターネットの操作を他の社員の方に教えたりと、P Cそのものに関わる業務が中心になってゆきました。



整備士？

そのうちに何故かT Sの操作も教わるようになり、気がつけば最近では総務の業務や内業よりも現場に出る機会が多くなっています（これは会社の計画通りなのかも・・・？）。現場の進め方や成果の作成など勉強しなければならない事がまだまだ多く至らないことばかりなのですが、支えて下さる周囲の方には本当に感謝しております。

今ではP Cの部品の価格や性能にも詳しくなり、友人や知人から購入や構成について相談を受けるようになりました。またP Cの話の最中に「実は土地の測量のことで相談したいことがあるんだけど…」とお話を頂くこともあります。「自分の好きなものと仕事が結びつくなんて！」と驚くばかりです。

この先も自分の興味と業務を上手に結びつけ勉強を重ね、会社や測量業界の発展の為に微力ながら頑張っていきたいと思っています。



外業